

事務事業名		岩手県南家畜衛生推進協議会参画事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～) ☐ 期間限定複数年度【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		予算科目				
	施策名	02 地域特性を生かした農林業の振興						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 農業経営の安定支援						01	06	01	04	08
根拠法令						事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)						
所属	部課名	農林水産部農林課										
	課長名	菅原 博幸										
	係名	農政係	電話	27-3111								
	担当者	及川 健太郎	内線	7124								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
・岩手県南家畜衛生推進協議会に負担金を支出する事業。 ・岩手県南家畜衛生推進協議会は、畜産農家の組織化による自衛防疫を推進し、家畜の健康保持と生産向上を図るとともに、家畜衛生に関する技術普及並びに情報伝達の円滑化を通じて、畜産農家の経営安定と消費者に信頼される健全な畜産物の生産に寄与することを目的としている。 ・構成は、県南地域の市町村、農協、共済組合、獣医師会。 ・協会の主な事業は、自衛防疫推進事業(推進会議、講習会、研修会の開催)、受託事業(予防接種事業、豚コレラ撲滅体制確立対策事業、家畜防疫互助基金造成等支援事業等、独自事業(予防注射事業、畜産環境改善技術普及事業、研修・講習会開催事業、広報事業、家畜共進会事業、地域評議会事業)である。 ・当市においては、家畜防疫に関し、協会事業に参画するとともに、衛生・防疫に係る情報の提供を受けている。 ・事業費は、協議会への負担金と総会等への出席旅費。												
全体計画(※期間限定複数年度のみ)												
総投入量 (千円)		事業費	財源内訳	国庫支出金								
				都道府県支出金								
				地方債								
				その他								
				一般財源								
			事業費計(A)		0							
		人件費	正規職員従事人数									
			延べ業務時間									
			人件費計(B)		0							
		トータルコスト(A)+(B)		0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

・岩手県南家畜衛生推進協議会に対し、負担金を拠出。

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

前年度と同じ。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

・岩手県南家畜衛生推進協議会

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

・負担金の納入等により、協議会の運営を健全なものとし、家畜の健康保持と生産向上を図る。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

・安定して農業を営む。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 総会出席回数	回
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 協議会会員数	団体
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 市内で法定伝染病にかかった家畜の頭数	頭
シ 協議会が発行する情報誌の発行回数	回
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	36	36	34	33	34	35
		事業費計 (A)	千 円	36	36	34	33	34	35
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間	10	10	10	10	10	10
		人件費計 (B)	千 円	40	40	40	40	40	40
トータルコスト(A)+(B)		千 円	76	76	74	73	74	75	
⑤活動指標		ア	回	1	1	1	1	1	
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	団体	27	27	27	27	27	
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	頭	0	0	0	0	0	
		シ	回	4	4	4	4	4	
		ス							

事務事業ID	1212	事務事業名	岩手県南家畜衛生推進協議会参画事業
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ ・不明	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・鳥インフルエンザ等、新たな伝染病の発生が危惧される状況にあり、岩手県南家畜衛生推進協議会の果たす役割が増えている。	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 ・岩手県南家畜衛生推進協議会の業務は、当市の家畜の衛生向上を図る上で重要であり、協議会との連携は必要。 ・協議会への参画により、畜産農家の経営安定が図られ、市の農業振興に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 ・畜産農家をかかえる全ての市町村が協議会に加入している。 ・協議会への参画は、当市の畜産振興全般に結びつくことから、関与は妥当。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 ・畜産農家をかかえる全ての市町村が協議会に加入している。 ・協議会への参画は、当市の畜産振興全般に結びつくことから、関与は妥当。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 ・対象である岩手県南家畜衛生推進協議会に対し、負担金を納入し、協議会の運営を健全なものとするのが意図の事業であることから、対象、意図とも適切である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 ・協議会の運営を支え、家畜の健康保持と生産向上を図るために、継続して事業に参画する必要がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・市内の家畜を伝染病等から守り、適正な衛生管理を行う必要があり、廃止はできない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・事業費は負担金のみで、削減できない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・協会が行う事業への負担金納入事務及び総会への参加に係る人件費のみであり、削減できない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状どおり継続して事業を実施する。		

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下		×	×

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状維持で継続する。